



★八王子中だより★

★学校教育目標 『 大志を抱け ひとみ輝く 八中生 』

～ 賢く 豊かに 逞しく ～

★令和7年8月27日(水) さいたま市立八王子中学校学校だより

8・9月号

★HP アドレス <http://hachioji-j.saitama-city.ed.jp/> (生徒の学校生活の様子等をHPにアップしています)

自分の力を上達させるために

校 長 酒井 和浩



今年の夏は35度を超える「猛暑日」が続出する異常な気候となり、体調管理にも細心の注意を払っての生活となりました。ご家庭におかれましても、体調管理に十分配慮いただいたことと思います。まだ暑い日が続いていますが、今後の学校生活においても、熱中症等に気をつけてまいります。

今年の夏も生徒の活躍が多くありました。与野本町公民館のボランティアや地区の夏祭りボランティアに生徒が参加しました。特

に、夏祭りボランティアでは、今年度は桜丘地区に加えて八王子地区の夏祭りにも参加しました。私も神輿や山車と一緒に町内を回りましたが、地域の人からたくさん声をかけていただき、改めて地域とのつながりが大切であることを実感しました。また、陸上競技部の大橋くんが学校総合体育大会で標準記録を突破し、8月7、8日に栃木県で開催された関東大会、8月18、19日に沖縄県で開催された全国大会に出場しました。関東大会へ私も応援に行きましたが、緊張しながらも一生懸命取り組んでいる姿に感動しました。また、全国大会では、台風接近による変則的な日程となるなど厳しい状況ではありましたが、これまでの成果を発揮し、力いっぱい取り組んでくれました。大変うれしく思います。

先日、元サッカー日本代表である小野伸二さんの話を聞く機会がありました。これまでの自身の経験を踏まえ、生徒に向けた話をされていましたが、「なるほど」と感じたことがたくさんありました。1つ目は主体的に取り組む姿勢について、「楽しむ」ことが大切だということです。やらなくてはいけないこと、辛いこともたくさんありますが、「楽しむ」気持ちを持って取り組むことが上達につながるのだと感じました。2つ目は「次のこと」を考えるということです。小野さんが現役時代に味方にパスを出す際も、どこにパスを出したら次の人が動きやすいかなど、自分のひと手間で次の人がスムーズに動けるよう、常に考えていたそうです。3つ目は「苦難を乗り越えるのは1人ではできない」ことです。小野さんも苦しい時は周りの声や支えがとてもありがたく感じられたそうです。サッカーはチームスポーツであり、周りの仲間の声かけによりチーム全体が高まっていくそうです。

これらのことは、学校生活はもちろん、普段の生活のどの取組にも通じるものだと思います。例えば、小野さんは幼少期のサッカーの練習も「練習→実践→新たな課題発見→練習…」のサイクルを楽しみながら行っていたそうです。また、トイレのスリッパなど、次の人のことを考え、必ずきれいに並べていたそうです。上達の第一歩はほんの些細なことであり、身の回りのいたるところにあるのかもしれませんが。今までの考え方を少し変え、身の回りに起きていることを上達のチャンスととらえてみてはいかがでしょうか。ボランティア活動や部活動の取組もその一つです。仲間と一緒に活動を楽しむとともに、相手のことを考え、自分が何をすべきか、先を見据えて行動することを意識して取り組んでほしいと思います。